



エケアドル生まれ。コスタリカの中米経営大学院で財政学の修士号を取得し、コロンビアのエケアドル大使館・参事官やエケアドル経済省副大臣、世界銀行理事などを歴任。その後、CIFALアトランタ事務所長を経て、09年10月から現職。

広島に住んで

国連訓練調査研究所(ユニタール)広島事務所長

アレクサンダー・メヒヤさん (42)

1 January 2010, Wendy Hiroshima: Living in Hiroshima: Alexander Mejía, Head of UNITAR's Hiroshima Office, his Vision for the Office and Thoughts of Hiroshima

広島が創る平和メッセージを発信 奉仕の精神で世界平和に貢献したい

かじ取りに何の迷いもなければ、ただが創り出すものでは、期から、日本人を尊敬し、はきはきとした口調が、ありません。もっと一般の日本人に憧れを抱いていた。印象的だ。「広島は、原爆人たちが気軽に参加できるから、ユニタールとアトランタ市が共同設立した市。広島を訪れた各国のプログラムの根拠地。草の根的な広がりを持たせたい。年間1000人の研修参加者が、広島で感じた思いを、それぞれの国に研修生を受け入れることづくりに生かしてもらえ、が目標です」

ユニタールは、国連加盟国の外交官や政府関係者の研修機関として、96年に設立。広島事務所は、ニューヨークに続き、2番目の事務所として、2003年に開設された。開発途上国や紛争終結国などの国づくりを担う人たちが広島に招き、平和のための人材育成を目指す。指して「さまざまなプログラムを行っている。これまで61カ国、約4400人が参加した。」

「平和は役人ら専門家が世の足跡を通して、少年

「ユニタール広島事務所取材

一方、広島という地域を巻き込んだ取り組みも積極的展開していく方針。県内の大学や高校に協力してもらい、出前講座の開催やエッセイを募る。座の開催やエッセイを募る。ユニタール青少年大使を選ぶのも一例。「21世紀を担うのは若者。彼らに日本が世界で果たすべき役割を考えてもらい、広島を平和の発信基地として発信させていきたい」と、南米のエケアドル出身の大正期に野口英世が、黄熱病の対策に従事した地としても知られ、野口英世の足跡を通して、少年

「ユニタール広島事務所取材

ユニタールは、国連加盟国の外交官や政府関係者の研修機関として、96年に設立。広島事務所は、ニューヨークに続き、2番目の事務所として、2003年に開設された。開発途上国や紛争終結国などの国づくりを担う人たちが広島に招き、平和のための人材育成を目指す。指して「さまざまなプログラムを行っている。これまで61カ国、約4400人が参加した。」

「平和は役人ら専門家が世の足跡を通して、少年

「ユニタール広島事務所取材